

## 再評価結果（令和2年度事業継続箇所）（原案）

事業名	一般国道11号 <small>かわのえみしま</small> 川之江三島バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 四国地方整備局
起終点	自：愛媛県四国中央市川之江町 至：愛媛県四国中央市中之庄町	延長	10.1km		
事業概要	<p>一般国道11号は、徳島市を起点に四国の北部を瀬戸内海沿いに徳島県・香川県及び愛媛県下の主要都市を経て松山市に至る延長約230kmの主要幹線道路であり、産業・経済を支える大動脈であるとともに、通勤・日常生活を支える生活道路としての役割を持つ重要な道路である。</p> <p>一般国道11号川之江三島バイパスは、現国道11号の交通混雑の緩和及び交通安全の確保を図るとともに、松山自動車道三島川之江インターと接続することで、四国中央市における交通ネットワークの基盤となる道路として地域経済に大きく寄与することを目的とした事業である。</p>				
S47年度事業化	S53年度都市計画決定 (H30年度変更)	S55年度用地着手	S57年度工事着手		
全体事業費	約700億円	事業進捗率 (平成31年3月末時点)	約60%	供用済延長	6.5km
計画交通量	7,900～33,700台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 2.9  (残事業) 2.5	総費用 (残事業)/(事業全体) 217/1,140億円 事業費：196/1,065億円 維持管理費：21/75億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 533/3,288億円 走行時間短縮便益：520/3,155億円 走行経費減少便益：9/119億円 交通事故減少便益：4/13億円	基準年	令和元年
感度分析の結果	<p>(事業全体) 交通量：B/C=2.7～3.1 (交通量 ±10%)      (残事業) 交通量：B/C=1.6～3.3 (交通量 ±10%)          事業費：B/C=2.8～2.9 (事業費 ±10%)                      事業費：B/C=2.2～2.7 (事業費 ±10%)          事業期間：B/C=2.8～2.9 (事業期間±20%)                      事業期間：B/C=2.2～2.7 (事業期間±20%)</p>				
事業の効果等	<p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現道等の時間損失の削減が見込まれる</li> <li>・並行区間の混雑時旅行速度の向上が期待される</li> <li>・並行する現道を運行している路線バスの所要時間が短縮し、定時性の向上が見込まれる</li> <li>・JR伊予三島駅（特急停車駅）へのアクセス向上が期待される</li> <li>・高松、松山、高知龍馬空港へのアクセス向上が期待される</li> </ul> <p>②物流効率化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三島川之江港（重要港湾）へのアクセス向上が期待される</li> </ul> <p>③都市の再生</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区画整理等の沿道まちづくりと連携している</li> <li>・四国中央市人口集中地区（DID地区）での事業である</li> <li>・DID地区内で行う事業であり、市街地の道路網密度の向上が見込まれる</li> </ul> <p>④国土・地域ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常活動圏中心都市へのアクセス向上が期待される</li> </ul> <p>⑤個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点開発プロジェクトである「国際物流ターミナル整備事業」「四国ロジサイト整備」を支援している</li> <li>・主要観光地へのアクセス向上が期待される</li> </ul> <p>⑥安全で安心できるくらしの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三次医療施設へのアクセス向上が期待される</li> </ul> <p>⑦安全な生活環境の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車交通が1,000台/12h以上かつ歩行者交通量が100人/日以上での区間での歩道が整備される</li> </ul> <p>⑧災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・愛媛県地域防災計画において第一次緊急輸送道路に位置づけられている</li> <li>・緊急輸送道路が通行止めとなった場合に大幅な迂回を強いられる路線の代替路が形成される</li> </ul>				

⑨地球環境の保全

- ・CO2排出量の削減が見込まれる

⑩生活環境の改善・保全

- ・NOX排出量の削減が見込まれる
- ・SPM排出量の削減が見込まれる
- ・夜間要請限度の超過区間が改善される

⑪その他

- ・公共交通の乗り継ぎ利便性の向上が期待される

関係する地方公共団体等の意見

- ・四国中央市等より、本事業の整備促進について積極的な要望活動が続けられている (H27. 11、H28. 11、H29. 7、H29. 11、H30. 11)

・愛媛県知事の意見

対応方針（原案）については異議ありません。現国道11号の渋滞緩和や交通安全の確保を図り、交通ネットワークの基盤となる道路として、地域経済の発展に大きく寄与する重要な道路であることから、引き続きコスト縮減に努めるとともに、早期の全線供用に向けた整備促進をお願いします。

事業評価監視委員会の意見

- ・「事業継続」とする事業者の判断は「妥当」である。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・昭和60年3月 松山自動車道（三島川之江IC～土居IC）開通
- ・昭和62年12月 松山自動車道（川之江JCT～三島川之江IC）開通
- ・平成17年4月 松山自動車道（川之江JCT～新宮IC）4車線化開通
- ・平成20年7月 松山自動車道（新宮IC～大豊IC）4車線化開通

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・用地進捗率約78%、事業進捗率約60%（平成31年3月末時点）
- ・平成20年度まで：四国中央市上分町～四国中央市中之庄町 延長6.5km (2/4、4/4) 部分開通
- ・未供用区間について、平成23年9月に国史跡に指定された四国最大級の長方形墳である「宇摩向山古墳」への影響を回避するため平成30年11月に都市計画を変更

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・測量・道路設計を推進中。

施設の構造や工法の変更等

- ・今後も新技術、新工法の採用による工事コストの縮減に加えて、施設の長寿命化や維持管理を考慮した構造の採用等、総コストの縮減に努めていくこととする。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

- ・以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図

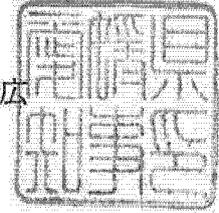


※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

元土（技）第336号  
令和元年7月31日

四国地方整備局長 様

愛媛県知事 中村 時広



四国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の  
作成に係る意見照会について（回答）

令和元年7月16日付け国四整企画第14号で依頼のあった標記について、別紙  
のとおり回答いたします。

次の再評価に係る「対応方針(原案)」案については異議ありません。

【道路事業】 1件

事業名	「対応方針(原案)」案	備考
一般国道11号 川之江三島バイパス	継続	

なお、事業に対する意見は下記のとおりです。

記

現国道11号の渋滞緩和や交通安全の確保を図り、交通ネットワークの基盤となる道路として、地域経済の発展に大きく寄与する重要な道路であることから、引き続きコスト縮減に努めるとともに、早期の全線供用に向けた整備促進をお願いします。

(再評価)

様式-1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道11号 川之江三島バイパス
事業主体	四国地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	全 体:費用便益比(3便益)(B/C)=2.9 (経済的純現在価値(B-C)=2,148億円、経済的内部収益率(EIRR)=9.6%) 残事業:費用便益比(3便益)(B/C)=2.5 (経済的純現在価値(B-C)=316億円、経済的内部収益率(EIRR)=10.5%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間時間損失及び削減率	時間損失削減量:176万人時間/年 削減率:79.2%
		■ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	現道区間の混雑時旅行速度 16.9km/h⇒27.2km/h(国道11号)
		□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	—
		■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	現道を利用する路線バス せとうちバス10便/日(往復)
		■ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	JR伊予三島駅、JR川之江駅(特急停車駅) 四国中央市～JR伊予三島駅 約1分短縮(6分⇒5分)
		■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	高松、松山、高知龍馬空港(第二種空港) 四国中央市役所～松山空港 約1分短縮(89分⇒88分)
	物流効率化の支援	■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	三島川之江港(重要港湾) 三島川之江港(東部地区)～三島川之江IC 約8分短縮(14分⇒6分)
		□ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	—
		□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	—
	都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	—
□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する		—	

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標	指標チェックの根拠	
1. 活力	都市の再生	■ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	下秋則土地区画整理事業（H6～H11 完了）、宮川周辺地区まちづくり総合支援事業（完了）、江之元地区住宅市街地総合整備事業
		■ 中心市街地内で行う事業である	四国中央市人口集中地区（DID地区）
		□ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	—
		■ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	幹線都市計画道路網密度が1.59⇒1.79km2に向上
		□ 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発（300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上）への連絡道路となる	—
	国土・地域ネットワークの構築	□ 高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り	—
		□ 地域高規格道路の位置づけあり	—
		□ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	—
		□ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	—
		□ 現道等における交通不能区間を解消する	—
		□ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	—
		■ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	旧川之江市～旧伊予三島市 約3分短縮（16分⇒13分）
	個性ある地域の形成	□ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	—
		■ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	国際物流ターミナル整備事業、四国ロジサイト整備
		■ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	翠波高原、紙のまち資料館、四国八十八ヶ所霊場第65番札所三角寺 三島川之江IC～翠波高原 約4分短縮（30分⇒26分）
		□ 特別立法に基づく事業である	—
□ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である		—	
□ 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である		—	
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	□ 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上に該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	—
		□ 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	—
	無電柱化による美しい町並みの形成	□ 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	—
		□ 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	—

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標	指標チェックの根拠	
2. 暮らし	安全で安心できるくらしの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる</li> </ul>	東予救命救急センター 四国中央市役所～東予救命救急センター 約1分短縮（35分⇒34分）
3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	—
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は児童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される</li> </ul>	【現道の交通量（H17調査：1002）】 ・自動車 19,488台/12h ・歩行者 135人/12h
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	—
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり</li> </ul>	愛媛県地域防災計画において第一次緊急輸送道路に指定
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する</li> </ul>	松山自動車道、国道11号現道、等
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	—
		<input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	—
		<input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	—
		<input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	—
		<input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	—
<input type="checkbox"/> 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす	—		
4. 環境	地球環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量</li> </ul>	CO2排出量の削減が見込まれる ・CO2排出削減量：13千t-CO2/年、CO2排出削減率：5.3%
	生活環境の改善・保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現道等における自動車からのNO2排出削減率</li> </ul>	NO2排出量の削減が見込まれる ・NO2排出削減量：33.6t-NO2/年、NO2排出削減率：43%
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現道等における自動車からのSPM排出削減率</li> </ul>	SPM排出量の削減が見込まれる ・SPM排出削減量：2.0t-SPM/年、SPM排出削減率：44%
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある</li> </ul>	騒音の低減が期待される
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	—
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	—
		<input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	—
		<input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	—
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる</li> </ul>	公共交通手段（高速バス・鉄道）の乗り継ぎ利便性向上

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道11号	川之江三島バイパス	L=10.1km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
7,900~33,700	4, 2	四国地方整備局

## ① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	令和元年度		
単純合計	670億円	92億円	762億円
うち残事業分	262億円	69億円	331億円
基準年における 現在価値 (C)	1,065億円	75億円	1,140億円
うち残事業分	196億円	21億円	217億円

## ② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和元年度			
供用年	平成10年度(暫定)、平成14年度(暫定)、平成15年度(暫定) 平成21年度(暫定)、令和11年度(暫定)、令和12年度(完成)			
単年便益 (初年便益)	27億円	1.3億円	0.09億円	29億円
基準年における 現在価値 (B)	3,155億円	119億円	13億円	3,288億円
うち残事業分	520億円	9億円	4億円	533億円

### ③ 結果

費用便益比 (B/C)	2.9
経済的純現在価値 (B-C)	2,148億円
経済的内部収益率 (EIRR)	9.6%
費用便益比 (残事業)	2.5
経済的純現在価値 (残事業)	316億円
経済的内部収益率 (残事業)	10.5%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

### ④ 感度分析

#### 【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	7,900~33,700	±10%	2.7~3.1
事業費	262億円	±10%	2.8~2.9
事業期間	57年	±20%	2.8~2.9

#### 【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	7,900~33,700	±10%	1.6~3.3
事業費	262億円	±10%	2.2~2.7
事業期間	10年	±20%	2.2~2.7

交通状況の変化

【事業全体】

様式-3①

事業名：川之江三島バイパス

(推計時点 R12年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 川之江三島 バイパス : 10.1km	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]		20,341	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]		13	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]		50.12	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	国道11号 (現道) : 7.4km	交通量	[台/日]	21,218	14,850
		走行時間	[分]	25	15
		走行時間費用	[億円/年]	102.06	44.80
	金生 三島線 : 4.1km	交通量	[台/日]	12,787	5,414
		走行時間	[分]	12	8
		走行時間費用	[億円/年]	30.05	6.88
	上分 三島線 : 5.1km	交通量	[台/日]	12,119	4,188
		走行時間	[分]	16	10
		走行時間費用	[億円/年]	35.52	6.75
	国道 192号 : 1.9km	交通量	[台/日]	14,345	10,416
		走行時間	[分]	6	3
		走行時間費用	[億円/年]	17.57	5.42
	国道 319号 : 0.8km	交通量	[台/日]	4,894	1,693
		走行時間	[分]	1	1
		走行時間費用	[億円/年]	1.32	0.46
③その他道路合計 : 219.7km	走行時間費用	[億円/年]	495.42	459.58	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 249.1km	走行時間短縮便益	[億円/年]	681.94	574.01	107.93

※1 : 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2 : 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3 : 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4 : 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5 : ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

【残事業】

様式-3①

事業名：川之江三島バイパス

(推計時点 R12年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 川之江三島 バイパス : 10.1km	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	19,650	20,341	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	9	13	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	32.86	50.12	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	国道11号 (現道) : 7.4km	交通量	[台/日]	17,606	14,850
		走行時間	[分]	22	15
		走行時間費用	[億円/年]	74.51	44.80
	金生 三島線 : 4.1km	交通量	[台/日]	8,961	5,414
		走行時間	[分]	9	8
		走行時間費用	[億円/年]	14.74	6.88
	上分 三島線 : 5.1km	交通量	[台/日]	3,761	4,188
		走行時間	[分]	10	10
		走行時間費用	[億円/年]	6.17	6.75
	国道 192号 : 1.9km	交通量	[台/日]	11,903	10,416
		走行時間	[分]	3	3
		走行時間費用	[億円/年]	7.33	5.42
	国道 319号 : 0.8km	交通量	[台/日]	3,042	1,693
		走行時間	[分]	1	1
		走行時間費用	[億円/年]	0.88	0.46
③その他道路合計 : 219.7km	走行時間費用	[億円/年]	476.73	459.58	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 249.1km	走行時間短縮便益	[億円/年]	613.22	574.01	39.21

- ※1 : 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2 : 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3 : 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4 : 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5 : ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



# 費用便益分析の条件

事業名: 川之江三島バイパス

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	令和元年	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R12)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22センサス)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他( )	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
		その他( )	
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
その他( )	<input type="checkbox"/>		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 交通量推計結果について、交通容量(Qmax)以上の路線交通容量(Qmin~Qmax)内の路線等が混在した配分結果となっているため、便益算出においては速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
その他( )		<input type="checkbox"/>	

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	( ) %
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	( ) 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	( ) 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ( )	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

(4)

項目		チェック欄	
費用 の 算          定	事業費	詳細事業計画による値を採用 <input type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用 <input checked="" type="checkbox"/>	
		その他(既投資分は実績額、未投資分は供用年までの均等割) <input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載	
		当該区間を管轄する事務所における直轄国道維持管理費実績に基づき算出	
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である <input type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行 われない場合の費 用	考慮しない <input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する <input type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	事業費を考慮 <input type="checkbox"/>
			維持管理費を考慮 <input type="checkbox"/>
当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)			
その他			
4. その他			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			

## 費用の現在価値算定表

簡所名：川之江三島バイパス 【事業全体】				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
				0.30		10.1	2.99
-25年目	S 48	6.0748	59.6	0.30	3.15		
-24年目	S 49	5.8412	71.1	0.40	3.38		
-23年目	S 50	5.6165	75.2	0.20	1.54		
-22年目	S 51	5.4005	81.5	0.20	1.37		
-21年目	S 52	5.1928	86.4	0.30	1.86		
-20年目	S 53	4.9931	90.0	0.30	1.71		
-19年目	S 54	4.8010	92.4	0.30	1.61		
-18年目	S 55	4.6164	98.2	0.30	1.45		
-17年目	S 56	4.4388	100.7	6.10	27.70		
-16年目	S 57	4.2681	101.9	1.63	7.03		
-15年目	S 58	4.1039	102.9	6.91	28.39		
-14年目	S 59	3.9461	105.0	15.98	61.86		
-13年目	S 60	3.7943	105.7	7.69	28.43		
-12年目	S 61	3.6484	107.6	6.00	20.95		
-11年目	S 62	3.5081	107.3	13.57	45.70		
-10年目	S 63	3.3731	107.9	16.00	51.52		
-9年目	H 1	3.2434	110.8	9.37	28.25		
-8年目	H 2	3.1187	113.3	11.78	33.39		
-7年目	H 3	2.9987	116.0	12.14	32.31		
-6年目	H 4	2.8834	117.6	13.69	34.57		
-5年目	H 5	2.7725	117.9	11.76	28.48		
-4年目	H 6	2.6658	117.8	7.69	17.92		
-3年目	H 7	2.5633	117.1	9.13	20.58		
-2年目	H 8	2.4647	116.6	7.54	16.42		
-1年目	H 9	2.3699	117.5	7.21	14.98		
暫定供用開始年次	H 10	2.2788	116.9	8.62	17.31	0.62	1.25
1年目	H 11	2.1911	115.2	39.37	77.13	0.62	1.22
2年目	H 12	2.1068	113.8	14.38	27.42	0.62	1.18
3年目	H 13	2.0258	112.4	19.81	36.77	0.62	1.15
暫定供用開始年次	H 14	1.9479	110.5	22.85	41.48	1.01	1.83
暫定供用開始年次	H 15	1.8730	109.0	25.43	45.01	1.16	2.05
6年目	H 16	1.8009	107.9	24.07	41.37	1.16	1.99
7年目	H 17	1.7317	106.7	15.52	25.95	1.16	1.93
8年目	H 18	1.6651	105.9	23.08	37.37	1.16	1.87
9年目	H 19	1.6010	105.0	15.32	24.07	1.16	1.82
10年目	H 20	1.5395	104.4	19.70	29.91	1.16	1.76
暫定供用開始年次	H 21	1.4802	103.0	2.03	3.00	1.54	2.28
12年目	H 22	1.4233	101.3	0.86	1.24	1.54	2.22
13年目	H 23	1.3686	99.8	1.86	2.63	1.54	2.17
14年目	H 24	1.3159	99.0	1.62	2.21	1.54	2.10
15年目	H 25	1.2653	99.0	1.28	1.69	1.54	2.02
16年目	H 26	1.2167	101.5	1.41	1.75	1.54	1.90
17年目	H 27	1.1699	103.0	1.31	1.53	1.54	1.80
18年目	H 28	1.1249	102.8	0.83	0.94	1.54	1.73
19年目	H 29	1.0816	103.0	1.03	1.12	1.54	1.66
20年目	H 30	1.0400	103.0	0.46	0.48	1.54	1.60
21年目	R 1	1.0000	103.0	0.77	0.77	1.54	1.54
22年目	R 2	0.9615	103.0	0.66	0.64	1.54	1.48
23年目	R 3	0.9246	103.0	7.01	6.48	1.54	1.42
24年目	R 4	0.8890	103.0	12.57	11.17	1.54	1.37
25年目	R 5	0.8548	103.0	27.86	23.81	1.54	1.31
26年目	R 6	0.8219	103.0	27.22	22.37	1.54	1.26
27年目	R 7	0.7903	103.0	37.50	29.63	1.54	1.21
28年目	R 8	0.7599	103.0	41.68	31.67	1.54	1.17
29年目	R 9	0.7307	103.0	50.60	36.98	1.54	1.12
30年目	R 10	0.7026	103.0	44.38	31.18	1.54	1.08
暫定供用開始年次	R 11	0.6756	103.0	12.03	8.13	2.19	1.48
完成供用開始年次	R 12	0.6496	103.0			2.72	1.77
33年目	R 13	0.6246	103.0			2.72	1.70
34年目	R 14	0.6006	103.0			2.72	1.63
35年目	R 15	0.5775	103.0			2.72	1.57
36年目	R 16	0.5553	103.0			2.72	1.51
37年目	R 17	0.5339	103.0			2.72	1.45
38年目	R 18	0.5134	103.0			2.72	1.40
39年目	R 19	0.4936	103.0			2.72	1.34
40年目	R 20	0.4746	103.0			2.72	1.29
41年目	R 21	0.4564	103.0			2.72	1.24
42年目	R 22	0.4388	103.0			2.72	1.19
43年目	R 23	0.4220	103.0			2.72	1.15
44年目	R 24	0.4057	103.0			2.72	1.10
45年目	R 25	0.3901	103.0			2.72	1.06
46年目	R 26	0.3751	103.0			2.72	1.02
47年目	R 27	0.3607	103.0			2.72	0.98
48年目	R 28	0.3468	103.0			2.72	0.94
49年目	R 29	0.3335	103.0	-219.08	-73.06	2.72	0.91
合計				450.51	1,064.70	92.29	75.22
単純事業費計				669.59		92.29	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
 (このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

## 費用の現在価値算定表

箇所名：川之江三島バイパス 【残事業】				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.23	6.6	1.54	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費 (億円)		維持管理費 (億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-9年目	R 2	0.9615	103.0	0.66	0.64		
-8年目	R 3	0.9246	103.0	7.01	6.48		
-7年目	R 4	0.8890	103.0	12.57	11.17		
-6年目	R 5	0.8548	103.0	27.86	23.81		
-5年目	R 6	0.8219	103.0	27.22	22.37		
-4年目	R 7	0.7903	103.0	37.50	29.63		
-3年目	R 8	0.7599	103.0	41.68	31.67		
-2年目	R 9	0.7307	103.0	50.60	36.98		
-1年目	R 10	0.7026	103.0	44.38	31.18		
暫定供用開始年次	R 11	0.6756	103.0	12.03	8.13	0.65	0.44
完成供用開始年次	R 12	0.6496	103.0			1.40	0.91
2年目	R 13	0.6246	103.0			1.40	0.87
3年目	R 14	0.6006	103.0			1.40	0.84
4年目	R 15	0.5775	103.0			1.40	0.81
5年目	R 16	0.5553	103.0			1.40	0.78
6年目	R 17	0.5339	103.0			1.40	0.75
7年目	R 18	0.5134	103.0			1.40	0.72
8年目	R 19	0.4936	103.0			1.40	0.69
9年目	R 20	0.4746	103.0			1.40	0.66
10年目	R 21	0.4564	103.0			1.40	0.64
11年目	R 22	0.4388	103.0			1.40	0.61
12年目	R 23	0.4220	103.0			1.40	0.59
13年目	R 24	0.4057	103.0			1.40	0.57
14年目	R 25	0.3901	103.0			1.40	0.55
15年目	R 26	0.3751	103.0			1.40	0.53
16年目	R 27	0.3607	103.0			1.40	0.50
17年目	R 28	0.3468	103.0			1.40	0.49
18年目	R 29	0.3335	103.0			1.40	0.47
19年目	R 30	0.3207	103.0			1.40	0.45
20年目	R 31	0.3083	103.0			1.40	0.43
21年目	R 32	0.2965	103.0			1.40	0.42
22年目	R 33	0.2851	103.0			1.40	0.40
23年目	R 34	0.2741	103.0			1.40	0.38
24年目	R 35	0.2636	103.0			1.40	0.37
25年目	R 36	0.2534	103.0			1.40	0.35
26年目	R 37	0.2437	103.0			1.40	0.34
27年目	R 38	0.2343	103.0			1.40	0.33
28年目	R 39	0.2253	103.0			1.40	0.32
29年目	R 40	0.2166	103.0			1.40	0.30
30年目	R 41	0.2083	103.0			1.40	0.29
31年目	R 42	0.2003	103.0			1.40	0.28
32年目	R 43	0.1926	103.0			1.40	0.27
33年目	R 44	0.1852	103.0			1.40	0.26
34年目	R 45	0.1780	103.0			1.40	0.25
35年目	R 46	0.1712	103.0			1.40	0.24
36年目	R 47	0.1646	103.0			1.40	0.23
37年目	R 48	0.1583	103.0			1.40	0.22
38年目	R 49	0.1522	103.0			1.40	0.21
39年目	R 50	0.1463	103.0			1.40	0.20
40年目	R 51	0.1407	103.0			1.40	0.20
41年目	R 52	0.1353	103.0			1.40	0.19
42年目	R 53	0.1301	103.0			1.40	0.18
43年目	R 54	0.1251	103.0			1.40	0.18
44年目	R 55	0.1203	103.0			1.40	0.17
45年目	R 56	0.1157	103.0			1.40	0.16
46年目	R 57	0.1112	103.0			1.40	0.16
47年目	R 58	0.1069	103.0			1.40	0.15
48年目	R 59	0.1028	103.0			1.40	0.14
49年目	R 60	0.0989	103.0	-58.91	-5.83	1.40	0.14
合計				202.59	196.23	69.25	20.63
単純事業費計				261.50		69.25	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

## 便益の現在価値算定表

【事業全体】

箇所名：川之江三島バイパス

年次	年度 (基準年)	総走行台和の年次別伸び率 (四国ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間短縮便益 (億円)					走行費用減少便益 (億円)					事故減少便益 (億円)		合計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%			
																			③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)
暫定供用開始年次	H 10	1.05423	0.99734	1.00153	1.03203	2.2788	116.9	13.54	8.66	5.23	27.43	55.08	0.61	0.23	0.44	1.28	2.58	0.09	0.17	28.80	57.83
1年目	H 11	1.05423	0.99734	1.00153	1.03203	2.1911	115.2	14.28	8.64	5.23	28.15	55.15	0.64	0.23	0.44	1.32	2.58	0.09	0.18	29.56	57.91
2年目	H 12	1.01358	0.96621	1.02052	1.00085	2.1068	113.8	14.47	8.35	5.34	28.16	53.70	0.65	0.22	0.45	1.33	2.53	0.09	0.17	29.58	56.40
3年目	H 13	1.01358	0.96621	1.02052	1.00085	2.0258	112.4	14.67	8.07	5.45	28.19	52.32	0.66	0.22	0.46	1.34	2.48	0.09	0.17	29.61	54.97
暫定供用開始年次	H 14	1.01358	0.96621	1.02052	1.00085	1.9479	110.5	20.41	10.66	8.02	39.09	70.97	0.65	0.06	0.50	1.21	2.20	0.31	0.57	40.61	73.74
暫定供用開始年次	H 15	1.01358	0.96621	1.02052	1.00085	1.8730	109.0	21.35	10.57	8.40	40.33	71.37	0.66	0.12	0.51	1.28	2.27	0.34	0.60	41.95	74.24
6年目	H 16	1.01358	0.96621	1.02052	1.00085	1.8009	107.9	21.64	10.22	8.58	40.43	69.50	0.67	0.11	0.52	1.30	2.23	0.34	0.58	42.07	72.32
7年目	H 17	1.01358	0.96621	1.02052	1.00085	1.7317	106.7	21.93	9.87	8.75	40.56	67.79	0.68	0.11	0.53	1.32	2.20	0.34	0.56	42.21	70.56
8年目	H 18	0.99799	0.98053	1.00017	0.99397	1.6651	105.9	21.89	9.68	8.75	40.32	65.30	0.68	0.11	0.53	1.31	2.12	0.34	0.54	41.97	67.97
9年目	H 19	0.99799	0.98053	1.00017	0.99397	1.6010	105.0	21.84	9.49	8.76	40.09	62.96	0.67	0.10	0.53	1.31	2.06	0.33	0.52	41.73	65.54
10年目	H 20	0.99799	0.98053	1.00017	0.99397	1.5395	104.4	21.80	9.31	8.76	39.86	60.54	0.67	0.10	0.53	1.31	1.98	0.33	0.50	41.50	63.03
暫定供用開始年次	H 21	0.99799	0.98053	1.00017	0.99397	1.4802	103.0	39.40	16.69	16.71	72.81	107.77	1.44	0.27	1.18	2.90	4.29	0.21	0.31	75.92	112.37
12年目	H 22	0.99799	0.98053	1.00017	0.99397	1.4233	101.3	39.33	16.37	16.71	72.41	104.79	1.44	0.27	1.18	2.89	4.18	0.21	0.30	75.51	109.27
13年目	H 23	1.00147	1.00237	1.02093	1.00349	1.3686	99.8	39.38	16.41	17.06	72.85	102.91	1.44	0.27	1.21	2.92	4.12	0.21	0.29	75.98	107.32
14年目	H 24	1.01110	1.01202	1.03055	1.01316	1.3159	99.0	39.82	16.60	17.59	74.01	101.32	1.46	0.27	1.24	2.97	4.07	0.21	0.29	77.19	105.68
15年目	H 25	0.99679	0.99770	1.01577	0.99883	1.2653	99.0	39.69	16.57	17.86	74.12	97.57	1.45	0.27	1.26	2.99	3.93	0.21	0.28	77.32	101.78
16年目	H 26	0.98800	0.98892	1.00664	0.99005	1.2167	101.5	39.22	16.38	17.98	73.58	90.85	1.44	0.27	1.27	2.98	3.67	0.21	0.26	76.76	94.78
17年目	H 27	0.99991	1.00085	1.01859	1.00200	1.1699	103.0	39.21	16.40	18.32	73.92	86.48	1.44	0.27	1.29	3.00	3.51	0.21	0.24	77.13	90.24
18年目	H 28	0.98855	0.98948	1.00684	0.99062	1.1249	102.8	38.76	16.22	18.44	73.43	82.76	1.42	0.27	1.30	2.99	3.37	0.21	0.23	76.62	86.36
19年目	H 29	0.99005	0.99099	1.00821	0.99214	1.0816	103.0	38.38	16.08	18.59	73.05	79.01	1.40	0.26	1.31	2.98	3.23	0.21	0.22	76.24	82.46
20年目	H 30	0.99159	0.99254	1.00961	0.99370	1.0400	103.0	38.06	15.96	18.77	72.78	75.70	1.39	0.26	1.33	2.98	3.10	0.20	0.21	75.97	79.01
21年目	R 1	0.99234	0.99330	1.01023	0.99447	1.0000	103.0	37.76	15.85	18.96	72.58	72.58	1.38	0.26	1.34	2.98	2.98	0.20	0.20	75.76	75.76
22年目	R 2	0.99457	0.99554	1.01234	0.99672	0.9615	103.0	37.56	15.78	19.20	72.54	69.74	1.37	0.26	1.36	2.99	2.88	0.20	0.19	75.73	72.81
23年目	R 3	0.99529	0.98498	1.00168	0.99398	0.9246	103.0	37.38	15.54	19.23	72.15	66.71	1.37	0.25	1.36	2.98	2.76	0.20	0.19	75.34	69.66
24年目	R 4	0.99527	0.98475	1.00168	0.99394	0.8890	103.0	37.20	15.31	19.26	71.77	63.81	1.36	0.25	1.36	2.97	2.64	0.20	0.18	74.95	66.63
25年目	R 5	0.99525	0.98452	1.00167	0.99390	0.8548	103.0	37.03	15.07	19.29	71.39	61.03	1.36	0.25	1.36	2.97	2.54	0.20	0.17	74.56	63.73
26年目	R 6	0.99522	0.98427	1.00167	0.99387	0.8219	103.0	36.85	14.83	19.33	71.01	58.36	1.35	0.24	1.37	2.96	2.43	0.20	0.16	74.17	60.96
27年目	R 7	0.99520	0.98402	1.00167	0.99383	0.7903	103.0	36.67	14.60	19.36	70.63	55.82	1.34	0.24	1.37	2.95	2.33	0.20	0.15	73.77	58.30
28年目	R 8	0.99518	0.98376	1.00167	0.99379	0.7599	103.0	36.50	14.36	19.39	70.25	53.38	1.34	0.24	1.37	2.94	2.24	0.19	0.15	73.38	55.76
29年目	R 9	0.99515	0.98349	1.00166	0.99375	0.7307	103.0	36.32	14.12	19.42	69.86	51.05	1.33	0.23	1.37	2.93	2.14	0.19	0.14	72.99	53.34
30年目	R 10	0.99513	0.98322	1.00166	0.99371	0.7026	103.0	36.14	13.88	19.46	69.48	48.82	1.32	0.23	1.38	2.93	2.06	0.19	0.14	72.60	51.01
暫定供用開始年次	R 11	0.99511	0.98293	1.00166	0.99367	0.6756	103.0	50.86	18.78	30.69	100.33	67.78	1.60	0.26	1.82	3.68	2.49	0.26	0.18	104.27	70.44
完成供用開始年次	R 12	0.99508	0.98263	1.00166	0.99363	0.6496	103.0	54.73	20.11	33.09	107.93	70.11	1.50	0.25	1.79	3.54	2.30	0.50	0.32	111.97	72.74
33年目	R 13	0.99043	0.99132	0.99716	0.99140	0.6246	103.0	54.21	19.94	33.00	107.14	66.92	1.49	0.25	1.78	3.52	2.20	0.50	0.31	111.15	69.43
34年目	R 14	0.99033	0.99124	0.99715	0.99133	0.6006	103.0	53.68	19.76	32.90	106.34	63.87	1.47	0.25	1.78	3.50	2.10	0.49	0.30	110.33	66.27
35年目	R 15	0.99024	0.99116	0.99714	0.99125	0.5775	103.0	53.16	19.59	32.81	105.55	60.96	1.46	0.24	1.77	3.48	2.01	0.49	0.28	109.51	63.24
36年目	R 16	0.99014	0.99108	0.99714	0.99117	0.5553	103.0	52.63	19.41	32.71	104.76	58.17	1.44	0.24	1.77	3.45	1.92	0.48	0.27	108.70	60.36
37年目	R 17	0.99005	0.99100	0.99713	0.99109	0.5339	103.0	52.11	19.24	32.62	103.97	55.51	1.43	0.24	1.76	3.43	1.83	0.48	0.26	107.88	57.60
38年目	R 18	0.98995	0.99092	0.99712	0.99101	0.5134	103.0	51.59	19.06	32.53	103.17	52.97	1.41	0.24	1.76	3.41	1.75	0.47	0.24	107.06	54.96
39年目	R 19	0.98984	0.99084	0.99711	0.99093	0.4936	103.0	51.06	18.89	32.43	102.38	50.54	1.40	0.23	1.75	3.39	1.67	0.47	0.23	106.24	52.44
40年目	R 20	0.98974	0.99075	0.99710	0.99085	0.4746	103.0	50.54	18.71	32.34	101.59	48.21	1.39	0.23	1.75	3.37	1.60	0.47	0.22	105.42	50.03
41年目	R 21	0.98963	0.99067	0.99709	0.99076	0.4564	103.0	50.01	18.54	32.24	100.80	46.00	1.37	0.23	1.74	3.35	1.53	0.46	0.21	104.60	47.74
42年目	R 22	0.98952	0.99058	0.99709	0.99068	0.4388	103.0	49.49	18.36	32.15	100.00	43.88	1.36	0.23	1.74	3.32	1.46	0.46	0.20	103.79	45.54
43年目	R 23	0.98941	0.99049	0.99708	0.99059	0.4220	103.0	48.97	18.19	32.06	99.21	41.87	1.34	0.23	1.73	3.30	1.39	0.45	0.19	102.97	43.45
44年目	R 24	0.98930	0.99040	0.99707	0.99050	0.4057	103.0	48.44	18.01	31.96	98.42	39.93	1.33	0.22	1.73	3.28	1.33	0.45	0.18	102.15	41.44
45年目	R 25	0.98918	0.99031	0.99706	0.99041	0.3901	103.0	47.92	17.84	31.87	97.63	38.08	1.31	0.22	1.72	3.26	1.27	0.44	0.17	101.33	39.53
46年目	R 26	0.98907	0.99021	0.99705	0.99032	0.3751	103.0	47.39	17.67	31.77	96.83	36.32	1.30	0.22	1.72	3.24	1.21	0.44	0.16	100.51	37.70
47年目	R 27	0.98895	0.99012	0.99704	0.99022	0.3607	1														

## 便益の現在価値算定表

【残事業】

箇所名：川之江三島バイパス

年次	年度 (基準年)	総走行台和の年次別伸び率 (四国ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間短縮便益 (億円)					走行費用減少便益 (億円)					事故減少便益 (億円)		合計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%			
																			③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)
暫定供用開始年次	R 11	0.99511	0.98293	1.00166	0.99367	0.6756	103.0	14.89	5.13	11.20	31.22	21.09	0.28	0.04	0.44	0.76	0.51	0.07	0.05	32.06	21.66
完成供用開始年次	R 12	0.99508	0.98263	1.00166	0.99363	0.6496	103.0	18.94	6.70	13.57	39.21	25.47	0.19	0.03	0.41	0.63	0.41	0.31	0.20	40.15	26.08
2年目	R 13	0.99043	0.99132	0.99716	0.99140	0.6246	103.0	18.76	6.64	13.53	38.93	24.32	0.19	0.03	0.41	0.63	0.39	0.31	0.19	39.87	24.90
3年目	R 14	0.99033	0.99124	0.99715	0.99133	0.6006	103.0	18.58	6.58	13.49	38.65	23.22	0.19	0.03	0.41	0.62	0.37	0.30	0.18	39.58	23.77
4年目	R 15	0.99024	0.99116	0.99714	0.99125	0.5775	103.0	18.40	6.53	13.45	38.38	22.16	0.18	0.03	0.41	0.62	0.36	0.30	0.17	39.30	22.69
5年目	R 16	0.99014	0.99108	0.99714	0.99117	0.5553	103.0	18.21	6.47	13.42	38.10	21.16	0.18	0.03	0.41	0.62	0.34	0.30	0.17	39.01	21.66
6年目	R 17	0.99005	0.99100	0.99713	0.99109	0.5339	103.0	18.03	6.41	13.38	37.82	20.19	0.18	0.03	0.40	0.61	0.33	0.30	0.16	38.73	20.68
7年目	R 18	0.98995	0.99092	0.99712	0.99101	0.5134	103.0	17.85	6.35	13.34	37.54	19.27	0.18	0.03	0.40	0.61	0.31	0.29	0.15	38.45	19.74
8年目	R 19	0.98984	0.99084	0.99711	0.99093	0.4936	103.0	17.67	6.29	13.30	37.26	18.39	0.18	0.03	0.40	0.61	0.30	0.29	0.14	38.16	18.84
9年目	R 20	0.98974	0.99075	0.99710	0.99085	0.4746	103.0	17.49	6.23	13.26	36.99	17.55	0.18	0.03	0.40	0.60	0.29	0.29	0.14	37.88	17.98
10年目	R 21	0.98963	0.99067	0.99709	0.99076	0.4564	103.0	17.31	6.18	13.22	36.71	16.75	0.17	0.03	0.40	0.60	0.27	0.29	0.13	37.59	17.16
11年目	R 22	0.98952	0.99058	0.99709	0.99068	0.4388	103.0	17.13	6.12	13.18	36.43	15.99	0.17	0.03	0.40	0.60	0.26	0.28	0.12	37.31	16.37
12年目	R 23	0.98941	0.99049	0.99708	0.99059	0.4220	103.0	16.95	6.06	13.15	36.15	15.26	0.17	0.03	0.40	0.59	0.25	0.28	0.12	37.03	15.63
13年目	R 24	0.98930	0.99040	0.99707	0.99050	0.4057	103.0	16.76	6.00	13.11	35.87	14.55	0.17	0.03	0.40	0.59	0.24	0.28	0.11	36.74	14.91
14年目	R 25	0.98918	0.99031	0.99706	0.99041	0.3901	103.0	16.58	5.94	13.07	35.60	13.89	0.17	0.03	0.39	0.59	0.23	0.28	0.11	36.46	14.22
15年目	R 26	0.98907	0.99021	0.99705	0.99032	0.3751	103.0	16.40	5.89	13.03	35.32	13.25	0.16	0.03	0.39	0.58	0.22	0.27	0.10	36.17	13.57
16年目	R 27	0.98895	0.99012	0.99704	0.99022	0.3607	103.0	16.22	5.83	12.99	35.04	12.64	0.16	0.03	0.39	0.58	0.21	0.27	0.10	35.89	12.95
17年目	R 28	0.98882	0.99002	0.99703	0.99013	0.3468	103.0	16.04	5.77	12.95	34.76	12.06	0.16	0.03	0.39	0.58	0.20	0.27	0.09	35.61	12.35
18年目	R 29	0.98870	0.98992	0.99703	0.99003	0.3335	103.0	15.86	5.71	12.92	34.48	11.50	0.16	0.03	0.39	0.57	0.19	0.26	0.09	35.32	11.78
19年目	R 30	0.98857	0.98981	0.99702	0.98993	0.3207	103.0	15.68	5.65	12.88	34.21	10.97	0.16	0.03	0.39	0.57	0.18	0.26	0.08	35.04	11.24
20年目	R 31	0.98843	0.98971	0.99701	0.98982	0.3083	103.0	15.49	5.59	12.84	33.93	10.46	0.16	0.03	0.39	0.57	0.18	0.26	0.08	34.76	10.72
21年目	R 32	0.98830	0.98960	0.99700	0.98972	0.2965	103.0	15.31	5.54	12.80	33.65	9.98	0.15	0.02	0.39	0.57	0.17	0.26	0.08	34.47	10.22
22年目	R 33	0.98816	0.98949	0.99699	0.98961	0.2851	103.0	15.13	5.48	12.76	33.37	9.51	0.15	0.02	0.39	0.56	0.16	0.25	0.07	34.19	9.75
23年目	R 34	0.98802	0.98938	0.99698	0.98950	0.2741	103.0	14.95	5.42	12.72	33.09	9.07	0.15	0.02	0.38	0.56	0.15	0.25	0.07	33.90	9.29
24年目	R 35	0.98787	0.98927	0.99697	0.98939	0.2636	103.0	14.77	5.36	12.68	32.82	8.65	0.15	0.02	0.38	0.56	0.15	0.25	0.07	33.62	8.86
25年目	R 36	0.98772	0.98915	0.99696	0.98928	0.2534	103.0	14.59	5.30	12.65	32.54	8.24	0.15	0.02	0.38	0.55	0.14	0.25	0.06	33.34	8.45
26年目	R 37	0.98757	0.98903	0.99695	0.98916	0.2437	103.0	14.41	5.25	12.61	32.26	7.86	0.14	0.02	0.38	0.55	0.13	0.24	0.06	33.05	8.05
27年目	R 38	0.98741	0.98891	0.99694	0.98904	0.2343	103.0	14.23	5.19	12.57	31.98	7.49	0.14	0.02	0.38	0.55	0.13	0.24	0.06	32.77	7.68
28年目	R 39	0.98725	0.98879	0.99693	0.98892	0.2253	103.0	14.04	5.13	12.53	31.70	7.14	0.14	0.02	0.38	0.54	0.12	0.24	0.05	32.48	7.32
29年目	R 40	0.98709	0.98866	0.99693	0.98880	0.2166	103.0	13.86	5.07	12.49	31.43	6.81	0.14	0.02	0.38	0.54	0.12	0.24	0.05	32.20	6.97
30年目	R 41	0.98692	0.98853	0.99692	0.98867	0.2083	103.0	13.68	5.01	12.45	31.15	6.49	0.14	0.02	0.38	0.54	0.11	0.23	0.05	31.92	6.65
31年目	R 42	0.98675	0.98839	0.99691	0.98854	0.2003	103.0	13.50	4.95	12.41	30.87	6.18	0.14	0.02	0.38	0.53	0.11	0.23	0.05	31.63	6.34
32年目	R 43	0.98657	0.98826	0.99690	0.98841	0.1926	103.0	13.32	4.90	12.38	30.59	5.89	0.13	0.02	0.37	0.53	0.10	0.23	0.04	31.35	6.04
33年目	R 44	0.98639	0.98812	0.99689	0.98827	0.1852	103.0	13.14	4.84	12.34	30.31	5.61	0.13	0.02	0.37	0.53	0.10	0.22	0.04	31.06	5.75
34年目	R 45	0.98620	0.98798	0.99688	0.98813	0.1780	103.0	12.96	4.78	12.30	30.04	5.35	0.13	0.02	0.37	0.52	0.09	0.22	0.04	30.78	5.48
35年目	R 46	0.98601	0.98783	0.99687	0.98799	0.1712	103.0	12.78	4.72	12.26	29.76	5.09	0.13	0.02	0.37	0.52	0.09	0.22	0.04	30.50	5.22
36年目	R 47	0.98581	0.98768	0.99686	0.98785	0.1646	103.0	12.59	4.66	12.22	29.48	4.85	0.13	0.02	0.37	0.52	0.09	0.22	0.04	30.21	4.97
37年目	R 48	0.98560	0.98753	0.99685	0.98770	0.1583	103.0	12.41	4.61	12.18	29.20	4.62	0.12	0.02	0.37	0.51	0.08	0.21	0.03	29.93	4.74
38年目	R 49	0.98539	0.98737	0.99684	0.98754	0.1522	103.0	12.23	4.55	12.14	28.92	4.40	0.12	0.02	0.37	0.51	0.08	0.21	0.03	29.64	4.51
39年目	R 50	0.98518	0.98721	0.99683	0.98739	0.1463	103.0	12.05	4.49	12.11	28.65	4.19	0.12	0.02	0.37	0.51	0.07	0.21	0.03	29.36	4.30
40年目	R 51	0.98495	0.98704	0.99682	0.98722	0.1407	103.0	11.87	4.43	12.07	28.37	3.99	0.12	0.02	0.36	0.50	0.07	0.21	0.03	29.08	4.09
41年目	R 52	0.98472	0.98687	0.99681	0.98706	0.1353	103.0	11.69	4.37	12.03	28.09	3.80	0.12	0.02	0.36	0.50	0.07	0.20	0.03	28.79	3.90
42年目	R 53	0.98449	0.98670	0.99680	0.98689	0.1301	103.0	11.51	4.31	11.99	27.81	3.62	0.12	0.02	0.36	0.50	0.06	0.20	0.03	28.51	3.71
43年目	R 54	0.98424	0.98652	0.99679	0.98672	0.1251	103.0	11.32	4.26	11.95	27.53	3.44	0.11	0.02	0.36	0.49	0.06	0.20	0.02	28.23	3.53
44年目	R 55	0.98399	0.98633	0.99678	0.98654	0.1203	103.0	11.14	4.20	11.91	27.26	3.28	0.11	0.02	0.36	0.49	0.06	0.20	0.02	27.94	3.36
45年目	R 56	0.98373	0.98614	0.99677	0.98635	0.1157	103.0	10.96	4.14	11.88	26.98	3.12	0.11	0.02	0.36	0.49	0.06	0.19	0.02	27.66	3.20
46年目	R 57	0.98346	0.98595	0.99676	0.98616	0.1112	103.0	10.78	4.08	11.84	26.70	2.97	0.11	0.02	0.36	0.48	0.05	0.19	0.02	27.37	3.04
47年目	R 58	0.98318	0.98575	0.99675	0.98597	0.1069	103.0	10.60	4.02	11.80	26.42	2.82	0.11	0.02	0.36	0.48	0.05	0.19	0.02	27.09	2.90
48年目	R 59	0.98289	0.98554	0.99673	0.98577	0.1028	103.0	10.42	3.97	11.76	26.14	2.69	0.10	0.02	0.36	0.48	0.05	0.18	0.02	26.81	2.76
49年目	R 60	0.98260	0.98533	0.99672	0.98556	0.0989	103.0	10.24	3.91	11.72	25.87	2.56	0.10	0.02	0.35	0.47	0.05	0.18	0.02	26.52	2.62
合 計								729.72	265.01	630.83	1625.57	519.88	7.45	1.20	19.16	27.82	8.82	12.13	3.88	1665.51	532.58

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道11号	川の江三島バイパス	2.4	10.1km

■事業費内訳 (全体事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				30,055	
	改良費				16,537	
		土工	m <sup>3</sup>	2,640,033	8,430	切土(1,293,314m <sup>3</sup> )、盛土(293,146m <sup>3</sup> )、捨土工(1,053,573m <sup>3</sup> )
		軟弱地盤改良工	m <sup>3</sup>	50,000	493	
		法面工	m <sup>2</sup>	63,688	849	切土法面(吹付枠、受圧板)、盛土法面
		擁壁工	式	1	2,352	大型ブロック積擁壁、プレキャストL型擁壁、重力式擁壁等
		管渠工	m	1,367	116	
		函渠工	m	1,994	798	
		排水工	m	20,395	1,004	
		中央分離帯工	m	9,006	475	
		雑工	式	1	2,019	機能補償道路(340m)・水路(340m)、跨道橋等
	橋梁費				3,837	
		100m以上	m	564	2,659	PC橋(3橋)、鋼橋(1橋)
		100m未満	m	376	1,177	PC橋(10橋)、鋼橋(2橋)
	トンネル費				7,344	
		NATM	m	1,132	7,344	3本(上下線)
		シールド	m	0	0	
	IC・JCT費				0	
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				1,947	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	142,014	1,807	
		歩道舗装	m <sup>2</sup>	38,875	141	
	付帯施設費				390	
		交通管理施設工	式	1	390	標識工、防護柵工、路面表示等
		遮音壁	m	0	0	
②	用地及補償費				32,256	
	用地費		m <sup>2</sup>	266,843	21,908	
		宅地	m <sup>2</sup>	111,821	12,084	
		田畑	m <sup>2</sup>	151,668	9,801	
		山林・原野	m <sup>2</sup>	3,354	23	
		その他	m <sup>2</sup>	0	0	
	補償費		式	1	10,348	
③	間接経費		式	1	7,690	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				70,000	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、四国共通ユニットプライス単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道11号	川の江三島バイパス	2.4	6.6km

■事業費内訳 (残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				16,465	
	改良費				4,716	
		土工	m <sup>3</sup>	555,039	1,658	切土(221,060m <sup>3</sup> )、盛土(109,250m <sup>3</sup> )、捨土工(184,479m <sup>3</sup> )
		軟弱地盤改良工	m <sup>3</sup>	0	0	
		法面工	m <sup>2</sup>	9,863	67	切土法面(吹付枠、受圧板)、盛土法面
		擁壁工	式	1	1,278	大型ブロック積擁壁、プレキャストL型擁壁、重力式擁壁等
		管渠工	m	409	31	
		函渠工	m	497	305	
		排水工	m	10,942	559	
		中央分離帯工	m	1,466	98	
		雑工	式	1	719	
	橋梁費				3,394	
		100m以上	m	564	2,659	PC橋(3橋)、鋼橋(1橋)
		100m未満	m	258	735	PC橋(3橋)、鋼橋(2橋)
	トンネル費				7,344	
		NATM	m	1,132	7,344	3本(上下線)
		シールド	m			
	IC・JCT費				0	
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				920	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	54,138	871	
		歩道舗装	m <sup>2</sup>	17,552	50	
	付帯施設費				90	
		交通管理施設工	式	1	90	標識工、防護柵工、路面表示等
		遮音壁	m	0	0	
②	用地及補償費				9,550	
	用地費		m <sup>2</sup>	74,633	5,891	
		宅地	m <sup>2</sup>	31,087	3,086	
		田畑	m <sup>2</sup>	41,882	2,795	
		山林・原野	m <sup>2</sup>	1,664	10	
		その他	m <sup>2</sup>	0	0	
	補償費		式	1	3,659	
③	間接経費		式	1	2,161	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				28,176	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、四国共通ユニットプライス単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

## 全事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道11号	川之江三島バイパス	2・4	10.1km

## ■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	10.1	1,297	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	8,773	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			10,070	

## 【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

## 残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道11号	川之江三島バイパス	2・4	6.6km

## ■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	6.6	1,140	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	6,478	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			7,618	

## 【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。